

## 学長のコラム

### 新アリーナ周辺の植樹について

キャンパスの西側入り口横に植えたカイノキ（楷樹）については、前号で報告したが、今回は、キャンパス拡張部分の植樹について報告する。まず、駅前の三角地に、三牧課長からシンボルツリーとして山桜はどうかという提案があったので、一緒に山野を探し回った。1号館側のキャンパスに200本近くあるという染井吉野の寿命は60年程度と言われているが、山桜の場合は、南阿蘇の一心行の桜のように寿命が200～1000年と言われているので、シンボルツリーにふさわしいと考えた。淡紅色の花が咲くオオヤマザクラ（大山桜）を探し求めたが、大きさと枝ぶりの良いものが見つからず、かわりに、菊池の山で、大きさと枝ぶりが適切なヤマザクラ（山桜、白い花）に遭遇したので、それを選択した。それが1月に駅前三角地に植えた木（写真）である。樹齢は不明であるが40～50年たっているのではないだろうか。石碑には、本学の将来ビジョンコンセプトから「保健医療系大学として、我が国のリーディング大学の一つとなろう」と刻まさせていただいた。1月に植えた時に、剪定で切りおとされた枝を家に持ち帰り、壺にさしておいたら、数日前（3月11日）に一輪の花が開いた。その後、さらに多くのつぼみが次々と咲き始めた。室内に置いたので開花が早かったのかもしれない。植えた山桜が今年も必ず咲いてくれることが確認できたので、開花を楽しみに待ちたい。



駅までの歩道+車道をどのような並木にするかも課題であったが、「トウカエデ」という木を選定した。1号館の周りに植えられている紅葉の美しい木である。

いろいろ考えて探してみたが、熊本で美しく紅葉する木の種類は限られており、この木に勝るものはないことを悟り、この木を選んだ。大学から駅に向かって左に13本、右のアリーナ側に17本、計30本である。5月頃の芽吹き、11月頃の美しい紅葉を期待したい。

卒業式・修了式の式辞でも紹介したが、今年度の卒業生から卒業記念樹のお申し出と志を頂いた。卒業記念パーティでお話したように、木を見て歩いた中で、「これはいつかほしいね」と三牧課長と意見が一致していたサルスベリの木があったので、早速、それを手配して、「夢はでっかく、根は深く」という卒業生の選んだ言葉を刻んだ石碑と共に、卒業式に間に合わせて植えることができた。この木はシマサルスベリ（島百日紅）という種で、5月に若葉が、夏に白い花を咲かせてくれることを楽しみに待ちたい。

（卒業記念樹の写真は3ページ目にあります。）

## 地域包括連携医療教育研究センター平成29年度活動報告会

### 「生きる達人」9名認定！

### センター愛称「ちいき楽暮（らぼ）」に決定！

2月23日、本学50周年記念館において4月に開設された地域包括連携医療教育研究センターの活動報告会が行われ、地域住民、本学教職員など約130名の参加があった。このセンターの活動テーマは「地域で育ち、地域で暮らし、地域で看取る」ことである。

第1部は「人生100年時代の社会保障を考える～高齢者と若者の共生を目指して～」のテーマで医療経済研究機構所長 西村周三氏による基調講演が行われた。「思いもかけず長生きしてしまう時代には地域のなかで人との関わりを持って、人の役に立つために“変身”することが重要」と話された。

第2部では安部センター長が1年間の取り組みの活動報告を行い、引き続きセンター事業の一つである「生きる達人」認定者9名に対して認定証書と聞き書き本が手渡された。認定者を代表して最高齢（91歳）の田尻さんは「家族や友人に囲まれ、生きがいを保っている」と挨拶された。講演された西村氏から「皆さんの知恵を若い人に引き継いで」とエールが送られた。

センターの愛称は「地域でいきいきと、楽しく、暮らす」ことを目指した研究活動を行う場所という意味で「ちいき楽暮（らぼ）」と発表された。（文責：竹熊 千晶）



「生きる達人」認定者9名のみなさんと西村周三先生、センター教員

## 3月・4月の主な行事予定

3/22 (木)	学内研究助成・研究成果報告会
3/23 (金)	脳卒中リハ修了式 10:00～
3/26 (月)	看護師・保健師・助産師国家試験合格発表日
3/27 (火)	第2回FDセミナー9:30～12:00 臨床検査技師・理学療法士・作業療法士国家試験合格発表日
3/28 (水)	言語聴覚士国家試験合格発表日
3/29 (木)	ハラスメント防止研修会 10:00～11:30
3/30 (金)	辞令交付式（退職、任期・期間満了）
4/1 (日)	新規採用者オリエンテーション
4/2 (月)	入学式、辞令交付式、実習認定式（看護新3年次） *平成29年度事業報告提出締切日 企画課まで
4/5 (木)	新入生歓迎会（学友会主催）メルパルク熊本にて
4/13 (金)	杏友会（教職員）歓迎会 KKR ホテル熊本にて
4/14 (土)	リハ（PT）実習指導者会議 リハ（OT）臨床教育者会議
4/21 (土)	保健科学部4年次保護者会

## 卒業式・修了式

3月9日（金）に新アリーナでの初めての卒業式・修了式を開催しました。医学検査学科 105名、看護学科 110名、理学療法学専攻 45名、生活機能療法学専攻 42名、言語聴覚学専攻 36名、大学院保健科学研究科 11名、助産別科 21名の総計 370名がこの日を迎えました。卒業生・修了生の皆さん、御卒業おめでとうございます！

（文責：企画課）



## 地域包括連携医療教育研究センター研修会

山崎泰広氏を講師に迎え、2月14・15日の両日にわたり「ちいき楽暮＝地域包括連携医療教育研究センター」主催の研修会を開催しました。14日は専門職を対象としたシーティングの基礎講座を行い、多岐にわたる専門職の参加がありました。15日は「インクルーシブな街づくり」と題して、2020年の東京パラリンピックを通じてレガシーを意識したユニバーサルデザイン、バリアフリーな街づくりを熊本でも推進していく必要性をお話いただきました。障害者に対応した街づくりは、高齢者にも対応できるというお話の中で、先進地での取り組みも実例をあげながらご紹介いただきました。山崎氏自身もバルセロナオリンピックに出場したパラリンピアンであり、様々な障害者スポーツの紹介をまじえた幅広く、密度の濃い研修会となりました。

（文責：佐々木 千穂）



## コンケンマラソン大会に参加して（その2）

スタートしてすぐに左折する。ところがみんないっぺんに広がった。一番左の人は反対車線のさらに左側を走っている。要するに近道である。私はどこを走っていかかわからない。何となく真ん中付近を走った。なんでもあり。マイペンライだ。これもタイランドらしくていいな。

スタートしてからだらだらとした上り坂をたくさんの人が同じ方向を向いて走っている。世間は真っ暗。まるで泥棒集団か夜逃げ集団のような雰囲気。私もその中の一人だ。

世間が明るくなってきました。やっと普通のジョギングの時の感覚になりました。最初に会ったコンケン大学生応援は医学部の学生諸君でした。ありがとう。

コンケン大学東門。これから先はキャンパス内を走ります。でもまだ半分も来ていません。6km地点。キャンパスの中をけっこう走りましたが、まだ5.5km走らなければなりません。大丈夫かな。それにしても広いキャンパスです。

ついにゴール！！一応、完走賞のメダルを付けてもらいました。不安を抱えてのマラソン大会参加でしたが、コンケン大の学生さんたちの元気な応援が背中を押してくれました。ありがとう！！！！

翌日、パッチャリー先生、チャンビット先生にもお会いして大会のことなどいろいろお話ししました。すると、この大会に在タイ国フィンランド大使も参加したんだそうです。キティチャイ学長はハーフマラソンに参加し、1.5時間でゴールしたそうです。すごい！！フルマラソンでもサブ4でしょう。尊敬します。そういえば、以前、会議をしたときにシャキシャキしておられましたね。さらに、パッチャリー先生はファンランで4kmを走った？歩いた？そうです。みんな元気ですね。（文責：石原 義光）



## 熊保大×法政大 熊本地震被災地支援ボランティア

2月18日（日）～20日（火）、本学学生と法政大学生との協同ボランティア活動をおこないました。益城町と西原村の仮設団地を訪問し、子どもたち向けの工作教室や住民の方々からの傾聴等をおこないました。今後も様々な形で共に活動していければと思います。

（文責：学務課）



## NBC 災害対策訓練

2月13日に、熊本市北消防署と合同でNBC災害対策訓練を行いました。教室にテロリストが侵入して多くの教職員や学生が被害にあったという想定で、救急への通報から負傷者救出までの一連の流れに関し、大掛かりな設営も行い開催しました。実際にはこのような訓練が不要であることを望みたいところですが、有事に際した対策訓練を行うことは重要と考えています。（文責：佐々木 千穂）



## 新アリーナ（体育館）竣工式

3月7日（水）、「学校法人银杏学園 熊本保健科学大学 体育館新築工事 竣工式」の神事が新アリーナにて執り行われました。（撮影：企画課）



## 医学検査学科同窓会講演会

2月24日(土)、本学にて第44回医学検査学科同窓会総会・講演会及び懇親会を開催しました。講演会では、レモンさんこと、ラジオDJの山本シュウさんが「繋がり～We Are シンセキ～」と題し、人と人の絆について熱く講演いただきました。「笑い・涙・感動・学び・気づき」の講演をおこなっていただき、本学食堂で開催した懇親会にも参加して下さいました。懇親会では同窓生のより深い繋がりを作ろうと、世代を超えた交流を行うことができました。最後に参加者全員で学園歌を斉唱し、今後の大学の発展を祈念し万歳三唱の後、閉会しました。

同窓会を実行するにあたり、お世話になりました崎元達郎学長をはじめ、同窓生の先輩方に深謝致します。(文責：熊本保健科学大学3期生 山本 隆敏)



\*

*	*
*	*

### 私の秘話ヒストリー

今回はリハビリテーション学科 生活機能療法学専攻の田中 聡准教授に投稿していただきました。

私は、これまで発生学に関する基礎研究を行ってきた。発生学とは、1つの細胞である受精卵から、何十兆個という細胞で構成される私達の体がどのようにして出来上がってくるのかを考える学問である。しかし、その中で私が興味を抱いたのは、私達自身の体を作ることに直接的には関係しない種類の細胞であった。その細胞とは、私達の体の中で生まれ、次世代を創り出すことに働く生殖細胞である。まだまだ、自称“若手”であるが、近年、学生や後進の育成とその成長が、自分のことよりも楽しみとなってきた。やはり、“次世代を創り出す”仕組みに、興味があるからなのだろうか。そもそも、我が家の次世代である“悪がき3人衆”の息子達が、10年後、20年後、本学の学生達のようにしっかりと成長するか心配になりながら、次世代を担う学生の育成に務めていきたいと思う今日この頃である。

### NEWS

3月4日、平成29年度海外留学奨学生20名がアメリカに向けて出発しました！  
(～4/1)

\*

### 卒業記念樹

新アリーナ横に植樹された、平成29年度卒業生・修了生の記念樹と石碑。(撮影：企画課)

